

川俣町合併 60 周年記念式典

未来の川俣町への メッセージ

山木屋小学校 6 年 菅野 綾香 さん

や

ったあ。と、体育館に山木屋の
たちの歓声があがりました。玉入
れ競技で、山木屋が一位になった
瞬間です。玉入れは、大人も子どもも交じっ
て地区の人が全員で参加する競技なので、特
にうれしかったです。

町の運動会の日。久しぶりに、みんなの笑
顔が集まり、楽しい時間を過ごしました。勝っ
ても負けても、みんなにこやかな表情でした。
わたしも、もちろん笑顔いっぱいでした。
わたしは、山木屋が大好きです。理由は、
わたしのふるさとだからです。わたしが知っ
ている山木屋の人はみ
んなやさしい、自然
は豊かで、のびのびで
きる環境があります。
歴史や伝統そして特産
物もあることを、総合
的な学習の時間に山木
屋地区の方から教えて
いただきました。わた



△山木屋太鼓によるオープニング



川俣町村合併60周年を祝う記念式典が中央公民館で開催されました。
多くのご来賓の出席のもと、これまでの町の歴史を祝
輝く未来へ向け、町は新たなスタートを切りました。
ここでは、式典で発表された
「未来の川俣町へのメッセージ」をご紹介します。
子どもたちの心に輝く川俣町の未来をご覧ください。
そして、この輝かしい未来を目指し、これからも
全町民が心一つに歩んでいきましょう。

しは、そんな山木屋の全部が大好きです。

震災のあと、わたしたちは、山木屋を離れた
生活になっています。でも、たくさんの人から
支援や励ましをいただいて、今は、家族全員で
川俣町の飯坂に住んでいます。学校では、同じ
校舎で学んでいる南小の友達とも仲良くして
もらい、毎日楽しく過ごしています。このよう
な生活を送ることができるのも、多くのみな
さんのやさしさがあったからだと思っています。

わたしたちのクラスでは、川俣町の未来に
ついて話し合いをしました。町がどんどん発
展して、ショッピングモールができたらい
なという意見もありました。また、再生可能
エネルギーを使って、自然にやさしいエコな
町にしたいという意見も出ました。電車が
走って、みんなが便利になる町にしたいとい
う意見もありました。観光客がたくさん来る
ように川俣タワーを作ろうと言う人もいまし
た。どの意見も、未来の川俣を真剣に考えた
いい意見だと思います。

でも、わたしは、みんながやさしい気持ち
で助け合い、笑顔があふれる川俣町になっ
てほしいと思っています。

わたしが避難して町に来たとき、大変なこ
とがたくさんありました。でも、そんなとき、
たくさんの人から、温かい言葉をかけてもら
いました。「大丈夫だよ」と言われたときは、
とてもうれしかったです。元気が出てきて、
がんばろうと思ったのを覚えています。

わたしたちは、総合的な学習で仮設住宅の
訪問を行っています。仮設の皆さんは、いつ
も笑顔で迎えてくれます。一緒に卓球をし
たり、おしゃべりをしたり、手紙の交流をし
たりしています。笑顔で「ありがとう」と言っ
てくださる人も多く、訪問をしたわたしたち

の方が元気をもらうことができました。また、
わたしのおじいちゃんやお母さん、お父さん
のこともよく知っていて、山木屋のみんなが
家族のように感じました。人と人とのつなが
りやきずながあるからだと思います。

このような人と人とのやさしさあふれるつ
ながりは、山木屋だけでなく、川俣町全体の
素晴らしいところだと思います。

山木屋から来たわたしたちを町の人たちは
みんな温かくむかえてくれました。コスキン
パレードや鼓笛パレードで、町の人たちから、
「きれいだね」「じょうずだね」と声をかけて
もらったときはうれしかったです。また駅伝
のときも「がんばれ」と声援を送ってもらい
ました。そのとき、わたしは、人と人とのや
さしさでつながっているのだと感じました。

私の将来の夢は、子どもたちに今習ってい
るピアノやそろばんの楽しさを教えることだ
す。楽しいと人は笑顔になるからです。わた
しは、町中に笑顔を広めたいです。それから、
料理やお菓子作り、手芸などがとても好き
なので、家庭科をもっと勉強して自分のお店を
もつのも夢です。わたしが作った料理や手芸
品の中にはやさしさと感謝の気持ちを入れま
す。そして、わたしがみんなからいただいた
思いやる気持ちややさしい心を町の人みんな
にお返ししたいです。

町の運動会の最後の種目。地区対抗リレー
が始まりました。子どもから六〇代のベテラ
ンの方まで、どの地区の人も、協力してがん
ばっていました。そして、どの人もみんな素
敵な笑顔でした。

わたしは、未来の川俣は、笑顔とやさしさ
でいっぱいになるような気がして、なん
だかうれしくなりました。



川俣小学校 6 年 熊谷 風音さん



川俣町が、今の形になってから六十年も経っているなんて、本当にすごいことだと思えます。ぼくは今年、六年間の小学校生活を終えて、川俣小学校を卒業しますが、その十倍も時が経っているとは、簡単には想像できません。

今頃は、川俣町の福沢地区に住んでいます。豊かな自然に囲まれている、とても静かでいい所です。おいしい野菜や果物が採れるし、タヌキやリスなどかわいい動物達もあちこちで見ることができます。水だっとおいしーいし、空気だっときれいです。大人はあんま

これから先、ぼくが大人になるまでには、まだまだ時間がありません。



す。それまでには、川俣町はもっともっと素敵な町になっていると思います。

例えば公園です。川俣町には中央公園という大きな公園がありますが、同じように立派な公園が、もっと多くの地区にできていると思います。遊具もたくさんあって、子ども達も自由に、そして安心して遊ぶことができる場所が、もっと増えていると思います。

交通の便も、今よりもっとよくなっている
と思います。

福沢地区には細い道路があって、時々危ないな、と思うことがあります。でも未来の川俣町なら、みんなが安心して暮らせるようになってははずです。バスなどの交通機関も充実して、となりの福島市や二本松市、伊達市などにも出かけやすくなって、人や物などとの交流が、もっと活発になればいいなと思います。もしかしたら、昔走っていたという汽車だって、復活しているかもしれません。

その他にも、町内の学校がみんな新しくなって、もっと楽しく勉強や運動に取り組めるようになっていたり、川俣シャモやコスキンなどに加え、何か新しい名物や名所ができているかもしれません。こんなことを想像すると、なんだかとてもワクワクしてきます。

そして最後にもう一つ、忘れてはいけな
ことがあります。それは、放射線の問題が解
決されていることです。

事故があった時、ぼくはまだ幼稚園生で、何が起こったのかよく分かっていませんでした。今になって思うと、外で遊んではいけないとか、畑で採れたものを食べられないとか、本当に大変なことだったと思います。特に山木屋地区の皆さんは、今も避難生活を送って



いるというの、残念でなりません。ですが、きつとこの大きな問題も、いつかは解決できているに違いありません。

ここまで考えたくさんのことは、ほんの勝手な想像に過ぎません。でも、これらのことが実現できたなら、川俣町は今よりもっと素敵な町になっているはずです。そのためには、この川俣町に住んでいる多くの人が、希望をもって生活していくことが大切だと思います。そしてぼく自身も、ただ想像するだけでなく、もっと川俣町についてよく知りながら、大好きな川俣町のためにできることを考え、実行することが大事だと思います。

最後に、未来の川俣町を創っていくのは、他の誰でもない、自分達だという強い思いをもちながら、この素晴らしい川俣町のために、少しでも役に立てる大人になれるように、これから過ごしていきたいと思います。